

令和2年度決算に係る

定期監査資料

令和3年6月

埋蔵文化財センター

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	職員の定員、現員調べ	1頁
4	役付職員の調べ	1頁
5	主な事業に関する調べ	2頁
6	収入証紙取扱額調べ	6頁
7	現金の取扱状況	6頁
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
8	財産に関する調べ	7頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
9	財産の貸付け及び使用許可調べ	9頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
10	借受不動産明細調べ	10頁
11	職員駐車場の管理状況調べ	10頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
12	寄附物件の受納状況調べ	11頁
13	備品の処分状況調べ	11頁
14	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	11頁
	(1) 亡失、損傷の報告状況	
	(2) 物品確認の実施状況	
15	埋蔵文化財の調査と研究	12頁
16	埋蔵文化財の普及啓発	13頁
	(1) 普及資料の発行等	
	(2) 見学(受付)者数	
	(3) 出前講演参加者数	
	(4) 普及イベントの開催	
17	埋蔵文化財関係職員等の研修	16頁
18	文化財保護の資料収集及び活用状況	16頁
19	出土品の整理及び公開状況	16頁
○	意見・要望等	18頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

(令和3年4月1日現在)

区分	種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
		当該年度	2.4.1現在	当該年度	2.4.1現在	当該年度	2.4.1現在	当該年度	2.4.1現在	
定員		19	19	0	0	0	0	19	19	
現員		(5) 19	(6) 19	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(5) 19	(6) 19	()書きのうち、5は派遣(鳥取県教育文化財団)、前年度の1は育児休業
過不足(△)		0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時的任用職員		0	0	0	0	0	0	0	0	
会計年度任用職員		8	7	0	0	0	0	8	7	一般事務2、出土品整理作業員6

4 役付職員の調べ

(令和3年6月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
所長	牧本 哲雄	0	2	年 月
次長	舟木 真佐人	1	2	年 月 出納員
発掘事業室長	原田 雅弘	1	2	年 月
課長補佐	中山 寧人	1	2	年 月
課長補佐	君嶋 俊行	1	2	年 月 鳥取県教育文化財団派遣

5 主な事業に関する調べ

(単位:千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
鳥取県の考古学情報発信事業	5,582	1,407			4,175
将来ビジョン	本県の豊かな歴史、自然・環境、食、文化等を知り、楽しむとともに、地域において自分の存在や役割に手応え・充実感が感じられる「価値実感生活」の実現 「知」「徳」「体」のバランスの取れた学校教育				
令和新時代創生戦略	—				
政策項目	青谷上寺地遺跡等の整備やたたら・刀剣など歴史のふるさとづくり				
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財センターに保管されている出土品や調査記録などを積極的に活用するなどして、鳥取県の考古学に関する様々な情報を積極的に発信し、児童・生徒や県民の方々の郷土の歴史や地域の埋蔵文化財に対する理解を深めていくことを通して、郷土愛の醸成を図り、保存・活用につなげ、ひいては地域振興も図る。 「鳥取西道路」改築事業などの開発事業に伴う調査で出土した土器、金属製品等の再整理、台帳作成、保存処理を行う。 					
(イ) 事業の実施状況					
<ul style="list-style-type: none"> 展示見学等活用事業 (単位:人) 					
事業内容(開催場所)		R2	R1	備考	
・施設見学、体験学習		264	1,409	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一時休館、イベント中止したほか、古代まつりは代替イベントを実施した。	
①施設見学、火起こし体験学習(当センター)		(154)	(349)		
②まいぶん古代体験の夏(当センター)		(76)	(800)		
③冬休み、春休みイベント(当センター)		(34)	(260)		
(13頁「(2)見学(受付)者数、14～15頁「(4)普及イベントの開催」参照)					
・展示		4,696	2,477	・これまでの展示に加え、鳥取県東部庁舎ギャラリーでパネル展を行った。 ・鳥取市歴史博物館と連携して企画展を実施した。	
①常設展示(当センター)		(837)	(983)		
②企画展示(当センター) 5回		(895)	(767)		
③大型商業施設での出前展示 1回 (イオン鳥取北店)		(100)	(727)		
④東部庁舎パネル展示(鳥取県東部庁舎) 2回					
⑤共同企画展「鳥取県埋蔵文化財センターの名品」 (鳥取市歴史博物館)		(2,864)			
(14頁「(4)普及イベントの開催」、16～17頁「(2)出土品の展示公開」参照)					
・講演会		1,088	3,042	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部イベントを中止した。 ・調査研究成果報告会でミニシンポジウムを行った。 ・全国初のつづら折りの古代道路が見つかった古代山陰道についての講演会を開催した。	
①連続講座「鳥取まいぶん講座」 5回		(172)	(323)		
②調査研究成果報告会 (当センター、国府町コミュニティセンター) (14～15頁「(4)普及イベントの開催」参照)		(111)	(68)		
③特別講演会 「青谷の古代山陰道が語るもの」 1回 (鳥取市青谷町日置谷体育館) (14～15頁「(4)普及イベントの開催」参照)		(99)	(403)		
④出前講演 27回(42回)		(467)	(1,798)		
⑤出前授業 12回(9回)		(239)	(450)		
・イベント		270	482	・地元市町・団体とも連携を図りながら、史跡の現地案内や調査研究個所での現地説明を行った。	
史跡等活用イベント 8回					
・(古代山陰道現地説明会 2回)		(106)	(254)		
・(狗尸那城現地説明会 2回)		(125)			
・(岩倉城ウォーク)		(17)			
・(親子で学ぶ発見!地域の歴史 3回)		(22)			
・(金田瓦窯・小松城ウォーク)		—	(37)		
・(天神山城合戦)		—	(38)		
・(狗尸那城ウォーク)		—	(33)		
・(鶴尾城ウォーク)		—	(38)		
・(鳥取城関連ウォーク)		—	(30)		
・(河口城ウォーク)		—	(52)		
(14～15頁「(4)普及イベントの開催」参照)					
合計		6,318	7,410		

・出土資料等の再整理・復元・公開

再整理・復元出土品数：土器 41点 木製品 1,000点
(17～18頁「(3)出土品等の貸出」参照)

木簡レプリカ、狗尸那城ジオラマを作成、公開した。
鳥取県埋蔵文化財センターの名品展を開催した。

・地域の魅力向上事業

鳥取市鹿野町の狗尸那城の発掘調査を行い、城郭の構造を確認したほか、主郭部分で大型礎石建物跡を確認した。

・市町村等への支援

活用イベントの支援、出土品等の貸し出し、試掘調査や踏査に技術的支援を行った。

・普及資料刊行事業

普及冊子「調査研究紀要12」、「青谷古代山陰道」、「鹿野・戦国亀井と狗尸那城」、「山田出雲守の居所と行動から因伯の戦国史を読み解く」、図録「鳥取県埋蔵文化財センターの名品」を刊行した。

・歴史授業(小・中・高校)への支援

教育センターと連携して教員研修を開催した(3回、計13人)。
授業づくりについて相談のあった学校と連携して授業づくり、授業実施を行った。

イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・新型コロナウイルス感染症対策で休館やイベントを中止したため、ホームページやSNSで調査研究の成果、講座の内容などを積極的に紹介した。
- ・新型コロナウイルス感染症対策として、古代まつり代替イベント「週替わり！まいぶん古代体験の夏」を開催した。
- ・調査研究成果発表会では、調査研究の成果だけでなく関心の高い中世城館についてミニシンポジウムを実施した。
- ・企画展示に加え、鳥取県東部庁舎ギャラリーでのパネル展示を実施した。
- ・学校向けに「ふるさとキャリア教育」のパンフレットを作成し、出土品等の学校の授業での利用促進を図った。
- ・鳥取市歴史博物館と共同で、展覧会「鳥取県埋蔵文化財センターの名品」を開催した。

ウ 成果及び効果

- ・ホームページ等の閲覧者がさらに増加した。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、ホームページ等を活用しての情報公開やジオラマの公開などで、来館者の落ち込みは大きくなかった。

エ 課題

- ・交通手段の確保等の問題もあり、見学学校の校数は少ないままである。
- ・文化財の普及啓発を通じて、保存・活用を図り地域振興にもつなげていくことは、県だけでなく市町村等にも共通テーマであるが、市町村等によって温度差がある。
- ・より効果的に情報発信し、保存・活用意識を高め、地域振興を図っていくためには、史跡等の価値付けを図る必要がある。

(単位:千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
古代山陰道(青谷地域)の調査研究事業	935	451			484
将来ビジョン	本県の豊かな歴史、自然・環境、食、文化等を知り、楽しむとともに、地域において自分の存在や役割に手応え・充実感が感じられる「価値実感生活」の実現 「知」「徳」「体」のバランスの取れた学校教育				
令和新時代創生戦略	—				
政策項目	青谷上寺地遺跡等の整備やたたら・刀剣など歴史のふるさとづくり				
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
<ul style="list-style-type: none"> ・青谷上寺地遺跡や青谷横木遺跡の道路遺構など、青谷地域の古代山陰道の調査研究を推進し、学術的な価値付けをすることで、地域振興や観光振興に活かす。 ・国史跡指定による更なる価値付けを目指し、青谷の新たな魅力発信につなげる。 					
(イ) 事業の実施状況					
○現地踏査					
<ul style="list-style-type: none"> ・青谷東側丘陵及び西側丘陵で現地形に残る道路痕跡を調査する現地踏査を実施した。 					
○発掘調査					
<ul style="list-style-type: none"> ・養郷狐谷遺跡の発掘調査を実施し、古代山陰道の道路遺構を確認した。 ・養郷宮之脇遺跡の発掘調査を実施し、古代山陰道の道路遺構を確認した。 ・道路遺構の学術的な価値付けを行うために「因幡国古代山陰道発掘調査委員会」を組織し、遺構の評価や発掘調査計画について有識者に諮った。 					
○現地説明会・ウォーキング等					
<ul style="list-style-type: none"> ・養郷宮之脇遺跡の発掘調査成果を一般公開する現地説明会を開催した。 ・地元の鳥取市青谷町で特別講演会「青谷の古代山陰道が語るもの」を開催した。 ・令和元年・2年度の発掘調査成果と特別講演会の記録を一般向けに分かりやすくまとめた冊子「青谷古代山陰道」を刊行した。 					
イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
<ul style="list-style-type: none"> ・現地踏査に基づき、遺構の保護を図りながら必要最低限の発掘調査を行った。 ・調査面積を調整し、調査方法も工夫することで、当初計画にはなかった養郷宮之脇遺跡の発掘調査を追加することができた。 ・HPやフェイスブック等を活用してタイムリーな情報発信を行い、一般向けの冊子を刊行することで研究成果を広く公表した。 					
ウ 成果及び効果					
○現地踏査					
<ul style="list-style-type: none"> ・青谷東側丘陵でつづら折りの道路痕跡が現地形に残されていることを確認した。 					
○発掘調査					
<ul style="list-style-type: none"> ・確認された道路遺構は、最大幅9mの大規模な道路遺構で、令和元年度に見つかった養郷新林遺跡から続く古代山陰道と考えられる。 ・青谷東側丘陵では、古代道路の痕跡が丘陵を約1.5kmにわたって良好な状態で残されていることが明らかとなった。 ・養郷宮之脇遺跡では、古代官道として国内初となるつづら折りの道路遺構を発見した。 平地での古代官道の様相は把握されてきたが、丘陵急斜面における道路線形や構造は未解明であり、貴重な成果となった。 ・発掘調査委員会委員からは、古代山陰道として考えてよい、丘陵部の調査事例は全国的にも少なく、古代道路を解明するうえで重要な成果である、との高い評価を得た。 					
○現地説明会・ウォーキング等					
<ul style="list-style-type: none"> ・養郷宮之脇遺跡の現地説明会は県内向けの第1回(9月27日)が89名、県外の方を含めた第2回(10月17日)が17名、計106名の参加者があった。 ・11月14日に開催した特別講演会「青谷の古代山陰道が語るもの」は県内外から99名の参加者があった。 					
エ 課題					
<ul style="list-style-type: none"> ・ルートがまだ未確定の青谷西側丘陵で現地踏査や発掘調査を継続して行う必要がある。 ・国史跡指定に向け、県と鳥取市が連携を強化して具体的な取り組みを進めていく必要がある。 ・青谷上寺地遺跡の史跡整備や普及活用等とも連携した取り組みが必要である。 					

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
鳥取西道路出土木製品調査研究事業	2,203	555			1,648
将来ビジョン	本県の豊かな歴史、自然・環境、食、文化等を知り、楽しむとともに、地域において自分の存在や役割に手応え・充実感が感じられる「価値実感生活」の実現 「知」「徳」「体」のバランスの取れた学校教育				
令和新時代創生戦略	-				
政策項目	青谷上寺地遺跡等の整備やたたら・刀剣など歴史のふるさとづくり				
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
<ul style="list-style-type: none"> 鳥取西道路の改築に伴う発掘調査で出土した、コンテナ約5,000箱(約80,000点)に及ぶ木製品の保存処理と調査研究を行い、古くから豊かな森林資源を背景に育まれた本県の歴史や地域間交流、暮らしなどを、「木の文化」を通じて解明するとともに、地域振興にも活かしていく。 					
(イ) 事業の実施状況					
<ul style="list-style-type: none"> 木製品の状態把握と調査研究、保存処理の優先順位を決めるトリアージ作業を約10,300点実施した。 木製品の保存処理について、自前でPEGとトレハロースによる2種の方法で実施した。また一部優品については、業者委託により実施した。合計で約1,000点の保存処理を完了させた。 樹種同定による環境復元や年代測定を、鳥取大学との共同研究で実施した。 調査研究のための実測作業を実施した。 保存処理を終えた木製品について速報展示等の情報発信を行った。 県内在住の木工職人に依頼した縄文時代のケヤキ大径木を用いた作品制作を引き続き実施した。 林業試験場の協力を得て、縄文時代のカゴ素材となるヒノキの加工法に関する基礎研究を実施した。 					
イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
<ul style="list-style-type: none"> トリアージ項目の見直しと記載カード様式の改良を行い、作業の効率化を図った。 トレハロースによる保存処理マニュアルを作成し、マニュアルに基づいた作業工程の確立を図った。 					
ウ 成果及び効果					
<ul style="list-style-type: none"> トリアージ点数は昨年度と同程度であったが、確認した遺物総点数は昨年度の2倍近い24,500点を処理することができ、1日1人当たりの処理点数は対前年度比120%を達成した。 マニュアル作成等、トレハロースによる保存処理の確立を図ることで、当初目標600点を大きく上回る約800点の処理を実施できた。 共同研究による樹種同定の結果から、遺跡で用いられている材が、遺跡周辺環境を大きく反映していることが改めて示された。 当初目標通り、約280点の木製品実測作業を終えた。 経過も含めた保存処理の状況をHPやフェイスブックで情報発信し、処理を終えた物についてはセンター内で速報展示を行い、閲覧者や来館者から好評を得ている。 					
エ 課題					
<ul style="list-style-type: none"> トリアージのより一層の効率化を図り、調査研究の推進を進めることが必要。 国重要文化財指定を目指した、青谷横木遺跡出土品の調査研究を早期に進めることが必要。 史跡青谷上寺地遺跡の整備とも連携しながら情報発信を行うことが必要。 					

6 収入証紙取扱調べ
有・無

7 現金の取扱状況

(1) 現金取扱状況

(令和3年3月31日現在)

収入科目(節)	収入 済 額 (円)	件 数 (件)	備 考
物品売払収入	231,980	271	書籍販売代金
雑入	25,008	46	販売書籍送料
合 計	256,988	317	

(2) つり銭の状況

(令和3年3月31日)

つり銭の有無	有	つり銭の額(円)
		10,000

8 財産に関する調べ
 (1)公有財産
 ア 土地

(令和3年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考		
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)			
														増加	減少
行政財産	埋蔵文化財センター 秋里分室	鳥取市国府町 宮下1260番地	5,720.49	70,500,864	増加	R						5,720.49	70,500,864		
			5,722.00	-	増加	R									
			9,407.14	-	増加	R									
			7,900.00	-	減少	R									
計			28,749.63	70,500,864			0.00	0				28,749.63	70,500,864		
	合計		28,749.63	70,500,864			0.00	0				28,749.63	70,500,864		

イ 建物

(令和3年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)		
														増加
行政財産	埋蔵文化財センター 秋里分室	鳥取市国府町 宮下1260番地	1,419.26	-	増加	R						1,419.26	-	
			1,895.00	6,600,000	増加	R								
			2,099.19	-	増加	R								
			1,806.68	20,547,057	減少	R								
計			7,220.13	27,147,057			0.00	0				7,220.13	27,147,057	
	合計		7,220.13	27,147,057			0.00	0				7,220.13	27,147,057	

ウ 山林

該当なし

エ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)

該当なし

オ 物権

該当なし

カ 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等)

該当なし

キ 有価証券

該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和3年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
23 枚	0 枚	0枚	23 枚
		0円	

9 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 該当なし

イ 建物

(令和3年3月31日現在)

行政・普通財産 の区分	貸付 (使用許可) 目的	所在地	数量 又は 面積	貸付 (使用許可) 年月日	当初貸付 (使用許可) 年月日	貸付 (使用許可) 期間	貸付(使用料) (円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用料)	住所名	氏名	
行政財産	鳥取県東部 ろうあ協会の 活動拠点	鳥取市国府町 宮下1262番地	40㎡	R2.4.1	H26.10.29	R2.4.1 ~ R3.3.31	月額・年額 0	0	鳥取市気高町浜村783- 1095 鳥取県東部ろうあ協会 0長	19-00263000	
	自動販売機 設置	鳥取市国府町 宮下1260番地	2㎡	R2.8.5	R2.8.5	R2.8.5 ~ R7.3.31	月額・年額 19,920	13,280	鳥取市千代水一丁目24番 地 アシード株式会社鳥取支 店	20-00110937	
計								13,280			
合計								13,280			

(2) 物品

(令和3年3月31日現在)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先 住所名	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料				
女子群像板絵	2点		R2.9.15 ~ R2.12.16	月額・年額 0	0	千葉県佐倉市城内町11 7	国立歴史民俗博物館企画展 示室A室、B室	企画展「性差の日本史」に おいて展示するため	
				月額・年額 0	0				
				月額・年額					
合計					0				

10 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約書の有無	契約の状況		借受先		備考
						借受期間	単価	借料(円)	住所名	
建物	RC3階	遺物収蔵庫	鳥取市吉岡温泉町789-1	902㎡	有	H30.4.1 ～ H35.3.31	月額・年額	本年度の借料 免除	鳥取市尚徳町116 鳥取市 鳥取市長 深澤義彦	
合計										0

11 職員駐車場の管理状況調べ

(1) 管理状況

(令和3年3月31日現在)

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額)	
			面積	(円)
行政財産	鳥取市国府町宮下1260番地(センター本所)	12.5		4,000

(2) 減免の考え方
該当なし

(3) 使用料の見直し
該当なし

12 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

13 備品の処分状況調べ

(令和3年3月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不用決定年月日	処 分				備 考	
			売却棄却 の別	売却方法・ 棄却理由	処分 年月日	売却額		処分費用
展示施設用光ファイ バー照明 W800XD600XH370	H15.6.30	R3.1.29	棄却	修理不能の ため	R3.2.3	円	円 77,000	その他の廃棄物と共に 処分
カラーレーザープリンタ (A3、カラー対応) 他	H16.3.19 他	R3.3.4	棄却	修理不能の ため	R3.3.4		0	他所属(とっとり弥生の 王国推進課)の廃棄物 処分と共に処分。当セ ンターの処分費用負担 なし。
合 計						0	77,000	

14 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 亡失、損傷の報告状況

有 ・ 無

(2) 物品確認の実施状況

有 ・ 無

1.5 埋蔵文化財の調査と研究

(1) 発掘調査

遺跡名	調査目的	調査面積	内容・成果等
		調査期間	
養郷狐谷遺跡 (鳥取市青谷町内)	青谷平野で見つかった古代山陰道のルートや道路構造を解明する。	45㎡ 令和2年6月5日 ～令和2年11月5日	現地踏査で確認した切通しなどの道路痕跡を試掘・確認調査し、丘陵尾根を縦走する最大幅9mの古代山陰道の道路遺構を確認した。
養郷宮之脇遺跡 (鳥取市青谷町内)		54㎡ 令和2年7月5日 ～11月5日	
狗尸那城 (鳥取市鹿野町内)	狗尸那城の時期比定、山城としての構造を解明する。	80㎡ 令和2年5月11日 ～令和2年10月13日	狗尸那城の主郭、曲輪平坦面、横堀・堅堀の結節点について調査を行い、主郭で大型礎石建物跡を検出した。

(2) 出土品整理作業・報告書作成作業

遺跡名	調査目的	作業内容
養郷狐谷遺跡 養郷宮之脇遺跡 (鳥取市青谷町内)	・出土品を調査研究し、古代山陰道がつくられた年代等を明らかにする。	出土した遺物の図化や遺構図の作成等の整理作業を行い、令和元年度と令和2年度に実施した発掘調査の概要をまとめた冊子を刊行した。報告書は令和3年度に刊行予定。
狗尸那城 (鳥取市鹿野町内)	・出土品を調査研究し、狗尸那城がつくられた年代等を明らかにする。	出土した遺物の写真撮影、遺構図のトレース等の整理作業及び令和2年度の概要報告書を作成した。報告書は令和3年度調査分も合わせ令和3年度に刊行予定。

(3) 出土品の調査研究

○鳥取西道路関連遺跡出土木製品の調査研究

鳥取西道路関連で出土した木製品(約80,000点)の再整理に関連し、令和2年度は約10,300点の木製品について調査研究及び保存処理の優先順位を決めるトリアージ作業を実施した。保存処理については約1,000点の処理を実施し、特にトレハロースによる保存処理は、独自のマニュアルを作成してセンター内で処理法の確立を図り、約800点の処理を行うとともに、容器をはじめとした優品20点については、業者委託による保存処理を行った。また、調査研究のため、青谷横木遺跡出土木製品280点の実測作業も行った。

共同研究として、鳥取大学の中原計氏と、弥生時代から中・近世の木製品164点の樹種同定や環境復元を昨年度に引き続き実施し、長期間にわたる県内の自然環境の変化と樹種の選択の変化についてのデータを得ることができた。

活用面では、経過も含めた保存処理の状況をHPやフェイスブックで情報発信し、処理を終えた物についてはセンター内で速報展示という形で紹介した。また、鳥取市歴史博物館を会場に開催した「鳥取県埋蔵文化財センターの名品」展において、縄文時代から中世までの名品を展示した。さらに県内の木工職人に、縄文時代のケヤキ材を使用した木製品の製作を引き続き依頼した。

なお、林業試験場の協力を得て縄文時代のカゴ素材となるヒノキの加工法に関する基礎研究に着手した。

○須恵器の産地同定からみる古代の流通と交通の研究

因幡国の流通と交通を明らかにすることを目的とし、岡山理科大学の白石純氏との共同研究で、須恵器の胎土分析を開始した。令和2年度は生産地である窯跡資料239点の分析を実施し、須恵器製作に用いられた胎土が大きく2領域に分かれ、時期や窯の立地が違いに反映されていることが明らかとなった。令和3年度に実施予定の消費地における須恵器の分析により、用いられた胎土の領域だけでなく、交通も含めた流通面等の解明にも期待できる。

16 埋蔵文化財の普及啓発

(1) 普及資料の発行等

ア 遺跡地図の改訂

市町村単位で遺跡地図の更新（年度ごとに遺跡の新発見や消滅について登録）を行い、県内の文化財保護部局及び開発部局等に配布した。

イ 図書の刊行

名 称	内 容 等	発行部数		備考
		無償頒布	有償頒布	
鳥取県埋蔵文化財センターの名品	令和2.8.1～9.22に鳥取市歴史博物館で開催した「鳥取県埋蔵文化財センターの名品」の展示解説図録。県内外の調査機関、図書館等に配布。	280冊	720冊	
鳥取県埋蔵文化財センターのあゆみ（追補）	令和元年8月の刊行以降の状況と、今後の展望をまとめた冊子。主に県内図書館に配布。	110冊	90冊	
青谷古代山陰道	令和元年度から実施してきた青谷地域の古代山陰道の発掘調査の概要をまとめた冊子。令和2年の特別講演会の講演内容も再構成して収録。主に県内図書館に配布。	120冊	380冊	
鹿野戦国亀井と狗尸那城	技巧的な防御施設があり、発掘調査で大型礎石建物跡が見つかった狗尸那城の調査成果をまとめた冊子。関連する亀井茲矩の事績についてまとめたほか、研究者による特論2本を収録。主に県内図書館、資料館に配布。	120冊	380冊	
調査研究紀要12	文化財専門職員が県内埋蔵文化財を調査研究した成果をまとめた冊子。成果を広くPRするため、県内外の調査機関、図書館等に配布。	350冊	50冊	
山田出雲守の居所と行動から因伯の戦国史を読み解く	令和3年2月に開催したミニシンポジウムの主要な論点について、その資料と当日の記録をまとめた冊子。主に県内図書館、資料館に配布。	110冊	290冊	

ウ フェイスブック、ホームページでの遺跡情報発信

遺跡の発掘調査や出土品・展示会の情報を逐次発信している。

(2) 見学（受付）者数

(令和3年3月31日現在)

(単位：人、校、件)

一般（個人）	団 体		
683人	団体のうち学校の利用（小学校）	4校（111人）	
	（中学校）	1校（34人）	
	（高等学校）	校（人）	
	（特別支援学校等）	校（人）	
	学校を除く各種団体の利用	1件（9人）	合計154人

(3) 出前講演参加者数
県内出前講演一覧

実施場所	内 容	参加人数
まなびタウンとうはく	郷土の歴史発見	13人
柳茶屋キャンプ場	火起こしワークショップ	37人
まなびタウンとうはく	砂に埋もれた大集落～長瀬高浜遺跡の紹介～	12人
鹿野町農業者トレーニングセンター	気多郡の城跡	26人
若葉台地区公民館	基礎から分かる県内中世城館～お城へGO!～	24人
鳥取市歴史博物館	発掘調査から分かる湖山池周辺の歴史	18人
鳥取市歴史博物館	鳥取の遺跡をめぐるバスツアー	10人
鳥取市歴史博物館	鳥取いにしえの木の文化	13人
鳥取市歴史博物館	鳥取県埋蔵文化財センターの名品紹介	15人
まなびタウンとうはく	古代から近世の交通について	10人
道の駅清流茶屋かわはら	西郷地区ウォーク	17人
まなびタウンとうはく	基礎から分かる県内中世城館～お城へGO!～	8人
鳥取市立小鷲河地区公民館	狗戸那城について	19人
鳥取市小沢見大崎城他	大崎城並びに北野神社の現地見学案内	22人
鳥取県立むきばんだ史跡公園	貝輪を作ろう!	20人
大正地区公民館	古代の木トンボを作ろう	8人
鳥取市因幡万葉歴史館	国府町とその周辺の古墳	33人
八頭町中私都周辺	私部城の構造と見どころ	20人
まなびタウンとうはく	古代・中世の食事の話～グルメな古代・中世の人々～	10人
鹿野城・流し山(現地)	鹿野城・流し山ウォーク	25人
稲葉山地区公民館	郷土の歴史発見	18人
まなびタウンとうはく	山ノ下遺跡の大型建物	7人
鳥取市青谷町総合支所	青谷の古代山陰道ー令和1・2年度発掘調査成果及び古代のコマづくり	10人
気高町コミュニティセンター	古代山陰道発掘調査について	20人
鳥取市立浜坂小学校	火起こしワークショップ	39人
まなびタウンとうはく	山陰最古の前方後円墳～本高14号墳～	8人
まなびタウンとうはく	「海古墳」を考える	5人

(4) 普及イベントの開催

イベント名	開催日/会場	実施内容	参加者数
週替わり! まいぶん古代体験の夏	R2. 7. 23～8/2 /埋蔵文化財センター	「古代まつり」の代替として、週替わりで様々な古代体験を体験できるイベントを実施した。	76人
来て! 見て!! とっとり考古学講座	R2. 7. 23～7. 26 /イオン鳥取北店	「古代の因幡」をテーマに、近年発見された遺跡や資料を紹介し、パネルや出土品の展示を行った。	100人
冬休みイベント	R2. 12. 25・26 /埋蔵文化財センター	冬休み中の子ども向けに、遺物レプリカづくりなどの古代体験や、忍者になって手裏剣投げのコーナーなどを実施した。	7人

春休みイベント	R3. 3. 27 /埋蔵文化財センター	春休み中の子ども向けに、ミニチュア土器づくりなどの古代体験や忍者になって手裏剣投げのコーナーなどを実施した。	27人
鳥取まいぶん講座 第1回 古代の因幡 -山陰道がつなく古代社会-	R2. 6. 20 /埋蔵文化財センター	当センターが行っている古代山陰道の発掘調査成果や近年の発掘調査から明らかになった山陰の古代社会について解説した。	33人
鳥取まいぶん講座 第2回 あなたの知らない漆の世界	R2. 7. 18 /埋蔵文化財センター	身近にある「漆」について、漆利用の歴史や近年の発掘調査で分かった漆製品の実像などについて解説した。	15人
鳥取まいぶん講座 第4回 縄文のカゴ、弥生のカゴ	R2. 9. 19 /埋蔵文化財センター	近年の発掘調査で出土した縄文時代や弥生時代のカゴ類について、材料や編み方などの特徴について解説した。	12人
鳥取まいぶん講座 第6回 織田・毛利戦争における東伯耆の中世城館	R2. 11. 21 /国府町コミュニティセンター	天正8・9年頃の東伯耆における織田方、毛利方の状況を、中世城館の縄張りや築造状況、文献資料などをもとに解説した。	52人
鳥取まいぶん講座 第7回 戦国期における岩美・八頭郡の主な歴史と関連城郭	R2. 12. 18 /国府町コミュニティセンター	室町幕府の奉公衆が多かった岩美郡と八頭郡の歴史について、奉公衆を軸に文献から解説したほか、岩美・八頭郡のおもな中世城郭について解説した。	60人
特別講演会「青谷の古代山陰道が語るもの」	R2. 11. 14 /鳥取市青谷町日置谷体育館	青谷地域で調査を行っている古代山陰道に関連し、文献史学の成果からみた古代道路について、解説した。	99人
第2回鳥取県埋蔵文化財センター調査研究成果発表会	R3. 2. 20、21 /国府町コミュニティセンター	センター職員が日々の調査研究成果等を発表したほか、センターが行っている東伯耆の中世城館調査に関連したミニシンポジウムを開催した。	111人
親子で学ぶ 発見!地域の歴史	R2. 8. 2、9. 5、10. 3 /埋蔵文化財センター	親子を対象に、弥生時代、古墳、中世城館のそれぞれについて、身近な遺跡や実験を通して解説した。	22人
岩倉城ウォーク	R2. 9. 26 /倉吉市岩倉城	東伯耆の有力国人小鴨氏の居城で県内有数の大規模城館である岩倉城、関連遺跡とともに現地を解説した。	17人
狗尸那城発掘調査現地説明会	R2. 9. 13、19 /鳥取市鹿野町鷲峰	令和2年度に行った狗尸那城の発掘調査について、現地で調査成果の説明を行った。	125人
古代山陰道発掘調査現地説明会	R2. 9. 27、10. 17 /鳥取市青谷町	令和2年度の発掘調査のうち、国内初のつづら折りの古代道路部分について調査成果を説明した。	106人
建設フェスタ2020	R2. 10. 18 /(公財)鳥取県建設技術センター	「発掘された古代の土木技術」として、古墳の墳丘や巨石を使った石室など、発掘調査で分かった古墳造りの技術について展示し、来場者に解説した。	15人

17 埋蔵文化財関係職員等の研修

(単位：日、人)

研修名	計 画 (A)			実 績 (B)			(B) - (A)		内 容 及 び 会 場
	研修期間	日数	人員	研修期間	日数	人員	日数	人員	
発掘技術 検討課程	R3. 3. 18	1	30	R3. 3. 18	1	24	0	△6	〈内容〉発掘調査における基礎的な知識や技能の習得を図った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、基本的にオンライン参加としたが、直接受講も可能とした。 〈会場〉埋蔵文化財センター
合 計	-	1	30	-	1	24	0	△6	

18 文化財保護の資料収集及び活用状況

- ・とっとり遺跡MAPの情報を追加した。

19 出土品の整理及び公開状況

(1) 土器の復元及び木製品の再整理

- ・展示等で活用するため、遺跡から出土した土器をもとの形に復元した。(4遺跡 41点)
- ・収蔵している木製品の保存性をより高めるため再整理作業を実施した。(2遺跡1,000点)

(2) 出土品の展示公開

埋蔵文化財センターが整理を行った出土品を中心に公開した。

展示会名称	会 場	会 期	内 容
埋蔵文化財センター常設展	鳥取県埋蔵文化財センター	R2. 4. 1 ~R3. 3. 31	埋蔵文化財センターの収蔵品である豊成叶林遺跡、桂見遺跡、青谷横木遺跡、長瀬高浜遺跡、本高古墳群などの出土品を展示し、来所者へ向け県内の遺跡について情報発信をした。
来て！見て！！とっとり考古学講座	東部展 イオン鳥取北店	R2. 7. 23 ~7. 26	「古代の因幡」をテーマに、近年発見された遺跡や資料を紹介し、パネルや出土品の展示を行った。
共同企画展「鳥取県埋蔵文化財センターの名品」	鳥取市歴史博物館	R2. 8. 1~9/22	当センターが所蔵・保管する膨大な出土遺物の中から、各時代を代表する名品を選びすぐって展示、紹介した。
発掘されたととりの土木技術「巨大石室古墳を造る」	鳥取県建設技術センター	R2. 10. 18 ~R3. 3. 31	県内の発掘調査成果から明らかとなった土木技術の中から、巨石を用いた古墳と石室の造り方について、パネルと出土品で展示・紹介した。
企画展示「古代の因幡ー山陰道がつなぐ古代社会ー」	鳥取県埋蔵文化財センター	R2. 6. 1~7. 10	鳥取西道路建設に伴う発掘調査で発見された、湖山池南岸地域の遺跡とその出土品を紹介した。
企画展示「埋蔵文化財の科学」	鳥取県埋蔵文化財センター	R2. 7. 17~8. 7	埋蔵文化財に関する、最新の科学的な調査などについて展示紹介した。
企画展示「埋文センターのめいひん」	鳥取県埋蔵文化財センター	R2. 8. 17 ~9. 25	「鳥取県埋蔵文化財センターの名品」展に、色々な理由で展示できなかったその他の「名品」や「迷品」を紹介した。
企画展示「西伯耆の中世城館」	鳥取県埋蔵文化財センター	R2. 10. 2 ~10. 30	西伯耆の中世城館のうち、発掘調査が行われた城跡の出土資料を紹介した。

企画展示「因幡の中世城館」	鳥取県埋蔵文化財センター	R2. 12. 18 ～R3. 1. 22	令和2年度に調査を行った狗尸那城について、最新の調査成果を紹介した。
企画展示「東伯耆の中世城館」	鳥取県埋蔵文化財センター	R3. 2. 5 ～3. 31	東伯耆の中世城館のうち、特徴的な「畝状竪堀」を備えた城や文献資料に登場しない「謎の城」を取り上げ紹介した。
「地下に眠っていたお宝 ～鳥取西道路の遺跡～」パネル展	鳥取県東部庁舎 ギャラリー	R2. 4. 14 ～6. 29	鳥取西道路開通1周年に合わせ、同道路の建設に伴い事前に発掘調査が行われた主な遺跡をパネルで紹介した。
「因幡の中世城館 鹿野戦国クシナ城」パネル展	鳥取県東部庁舎 ギャラリー	R3. 1. 29 ～3. 13	令和2年度に調査を行った狗尸那城について、最新の調査成果をパネルで紹介した。

(3) 出土品等の貸出
ア 展示への貸出

貸出先	貸出物
愛知県陶磁美術館	【乙亥正屋敷廻遺跡出土品】4点(木製容器・土器)
出雲弥生の森博物館	【小畑3号墳出土品】2点(鉄製馬具)
智頭町教育委員会	火起こし道具一式10セット
鳥取市立岩倉小学校	【青谷上寺地遺跡出土品】2点(石包丁)、鍬復元品2点、貫頭衣2点、計6点
八頭町市場公民館	火起こし道具一式4セット
国立歴史民俗博物館	【青谷横木遺跡出土品】18点(女子群像板絵ほか)、【高住平田遺跡出土品】2点(木製人形ほか)、計20点
個人	火起こし道具一式10セット
鳥取市青谷上寺地遺跡展示館	【良田平田遺跡出土品】1点(円面硯)、【高住牛輪谷遺跡】1点(須恵器)、【青谷横木遺跡】6点(土師器・須恵器ほか)、【常松大谷遺跡】1点(土馬)、計9点
米子市立山陰歴史館	【坂長第6遺跡出土品】6点(鉄鍬・鞆羽口ほか)
岩美町中央公民館	【小畑古墳群出土品】8点(馬具ほか)
鳥取市古海児童館	古銭鑄造体験道具一式15セット
鳥取県立博物館	【桂見遺跡出土品】7点(丸木船ほか)、【妻木法大神遺跡出土品】1点(板状石器)、【長瀬高浜遺跡出土品】5点(土師器)、【梅田萱峯遺跡出土品】2点(ナイフ形石器)、【南原千軒遺跡出土品】5点(石鋸ほか)、【笠見第3遺跡出土品】10点(玉作関係資料)、【坂長第6遺跡】2点(鞆羽口ほか)、【高住平田遺跡】2点(縄文土器)、【殿河内上ノ段大ブケ遺跡】1点(縄文土器)、計35点
北栄町教育委員会	貫頭衣一式 40点

イ 写真ネガ等の貸出

貸出先	貸出物
株式会社ユニフォトプレスインターナショナル	桂見遺跡出土壺形土器1点
愛知県陶磁美術館	乙亥正屋敷廻遺跡出土花卉高杯ほか3点
北栄町教育委員会	鳥古墳群関連6点、米里三ノ峯遺跡関連1点、中浜遺跡関連1点、計8点
国立歴史民俗博物館	青谷横木遺跡出土木簡2点

株式会社KADOKAWA	桂見遺跡出土丸木舟1点
株式会社PHP研究所	桂見遺跡出土丸木舟1点
鳥取市教育委員会	鳥取遺跡MAPの地図データ7点
(一社)隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会	桂見遺跡出土丸木舟1点
株式会社八木書店出版部	青谷横木遺跡古代山陰道復元イラスト1点
NPO法人むきばんだ応援団	南原千軒遺跡関連1点、豊成叶林遺跡関連3点、上福万遺跡関連3点、梶山古墳関連2点、計9点
朝日新聞出版	青谷横木遺跡出土丸木舟1点
国立歴史民俗博物館	青谷横木遺跡関連23点、高住平田遺跡関連4点、計27点
鳥取市歴史博物館	松原田中遺跡関連1点、本高14号墳関連1点、計2点
鳥取市日置谷地区公民館	善田傍示ヶ崎遺跡古代山陰道関連1点
長崎県埋蔵文化財センター	本高弓ノ木遺跡関連1点
株式会社ユニフォンプレスインターナショナル	桂見遺跡出土壺形土器1点
朝日新聞出版	青谷横木遺跡出土丸木舟1点
鳥取市青谷上寺地遺跡展示館	青谷横木遺跡関連11点、下坂本清合遺跡関連1点、大柵遺跡関連13点、高住平田遺跡関連1点、良田平田遺跡関連2点、計28点
岩美町教育委員会	小畑古墳群関連3点
米子市立山陰歴史館	坂長第6遺跡関連6点、都合山鉦関連6点、下市築地ノ峯東通第2遺跡関連4点、計16点
東京文化財研究所	金沢坂津口遺跡出土箕1点
株式会社ジャパン通信情報センター	狗尸那城跡関連14点
株式会社文藝春秋	青谷横木遺跡出土人形2点
朝日新聞社	青谷横木遺跡古代山陰道イラスト1点
鳥取市歴史博物館	桂見遺跡関連1点、本高古墳群関連1点、豊成叶林遺跡関連1点、梶山古墳関連1点、弥生人生業カレンダー1点 計5点
株式会社ユニフォンプレスインターナショナル	桂見遺跡出土壺形土器1点
個人	本高弓ノ木遺跡出土土器1点
厨子王株式会社	高住平田遺跡関連1点
東京文化財研究所	金沢坂津口遺跡出土箕1点
山上憶良の会	鳥取県の考古学第6巻掲載図3点
白谷工房	本高弓ノ木遺跡関連1点
西都原考古博物館	宮内第1遺跡関連8点
株式会社ユニフォンプレスインターナショナル	桂見遺跡出土壺形土器1点

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等 無し

(2) 監査委員事務局に対する要望等 無し